

CYBERDYNE株式会社

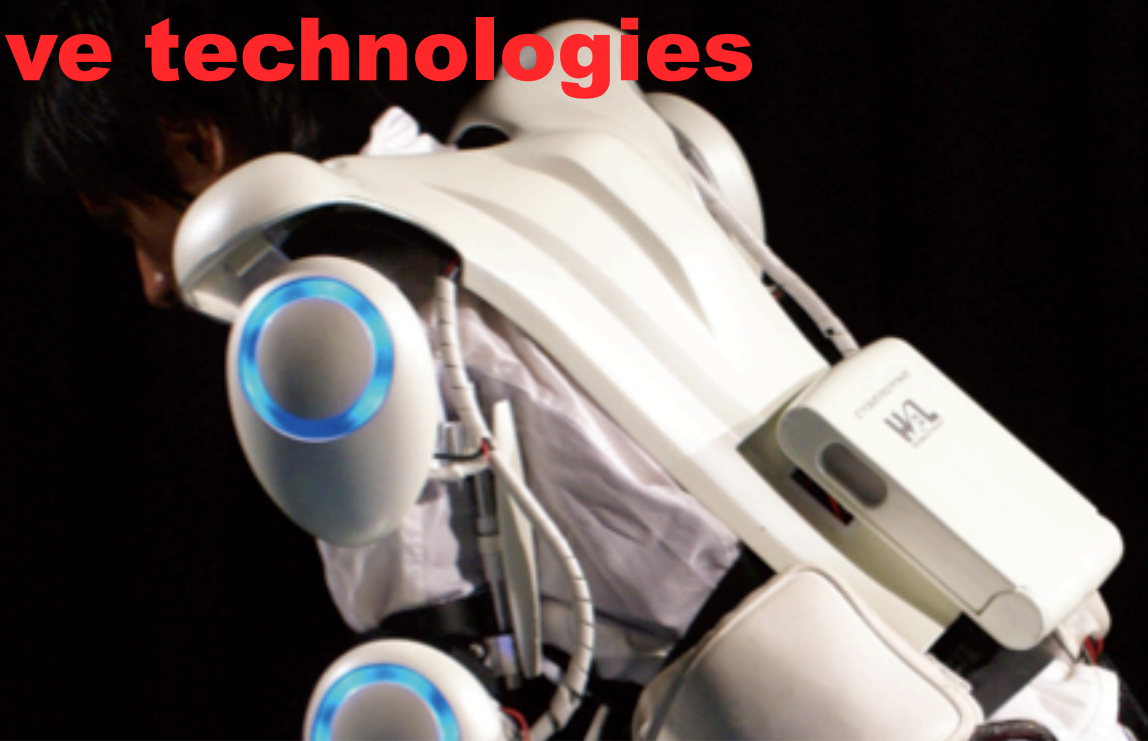
2015年3月期

決算説明会資料

Cybernetics as human assistive technologies

Robot Suit HAL
(Hybrid Assistive Limb)

 Good Design Award, Gold Medal



2015年 5月15日

本書には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本書に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

CYBERDYNE株式会社

事業進捗のハイライトと現況

医療機器 保険適用

- 欧州：ドイツで公的医療保険への申請（2015年度前半予定）
- 米国：HAL医療用のFDA申請（2014/11）→ 2015年中に承認予定
- 日本：HAL医療用の薬事申請（2015/03）→ 2015年末に承認予定

製品開発

- HAL：腰タイプ(作業 2014/09, 介護 2015/03)、単関節（2015/02）の販売開始
- モバイルベース：搬送ロボの販売開始(2015/03), 清掃ロボの販売予定(2015年度)
- バイタルセンサー（手のひらサイズの動脈硬化計・心電）：製品化（2015年度）

生産

- つくば本社：製造キャパがフル稼働（今期前半生産分は受注済）
- Fukushima生産拠点：次世代型多目的ロボット化生産拠点
(2015/05 起工式、2015年度末竣工予定)

事業推進

- 中長期的な事業成長資金として414億円を調達（2014/12）
- 米国事業：事業拠点設立を事業パートナー（医療系）と推進中
- CEJ事業：羽田エリアで、VB/JV連携により国際ビジネス拠点の創出

連結業績実績 - 前年同期比較

【2015年3月度：連結損益計算書】

単位：百万円

項目	2014/3期	2015/3期	増減額	増減率	コメント
売上高	456	631	175	38%	親会社：新製品(腰・単関節等)の上市 (+88M) 子会社：本格稼働によるサービス売上 (+72M)
売上原価	246	360	114	46%	子会社：サービス原価増加 (+95M)
売上総利益	210	271	61	29%	
研究開発費	716	983	267	37%	新製品の開発や臨床研究の加速
その他 販管費	648	1,054	406	63%	ファイナンス費用 65M 補助金事業費 +約200M、事業税資本割 +約50M
営業利益	-1,154	-1,766	-612	53%	
営業外収益	581	1,065	484	83%	研究助成金等 +271M 国内事業補助金 +205M
営業外費用	109	207	97	89%	ファイナンス費用 104M、
経常利益	-683	-908	-225	33%	
当期損益	-688	-916	-228	33%	

増益要因：売上高 38%増収(+175M)

減益要因：研究開発費(+267M)、ファイナンス費用(169M)

連結業績予想

【2016年3月度：連結損益計算書】

単位：百万円

項目	(実績) 2015/3期	(業績予想) 2016/3期	増減額	増減率	コメント
売上高	631	1,000	369	58%	・ レンタル台数増加(脚注) +200M ・ 国内子会社サービス売上 +100M ・ 独CCR治療サービス売上 +70M
経常利益	-908	-600	308	-34%	・ 売上高 +369M (上記) ・ 営業費用 △230M ・ 一時費用 +169M (前期ファイナンス) ※研究開発と補助金は前期と同様と仮定
当期純利益	-915	-600	315	-34%	

※下記事項は、外部影響要因であるため、
売上と費用を業績予想に織り込んでいません

- ① 欧州事業：公的医療保険適用
- ② 米国事業：FDA承認
- ③ 国内事業：薬事承認

※今期レンタル台数の増加内訳

- ① 腰タイプ 180台
- ② 単関節 60台
- ③ 清掃&搬送ロボット 10台

売上高推移

加速度的に売上成長

■ 売上高（百万円）

1,000

750

500

250

0

2013/3

2014/3

2015/3

2016/3

(業績予想)

286

456

631

1,000

医療機器（ISO13485）
とパーソナルケアロボット
（ISO/DIS13482）の国際
標準規格の認証

- EUでの医療機器を認証
- ドイツで公的労災保険適用

- 子会社事業の本格稼働
- 新製品（腰、単関節、搬送ロボット）の上市

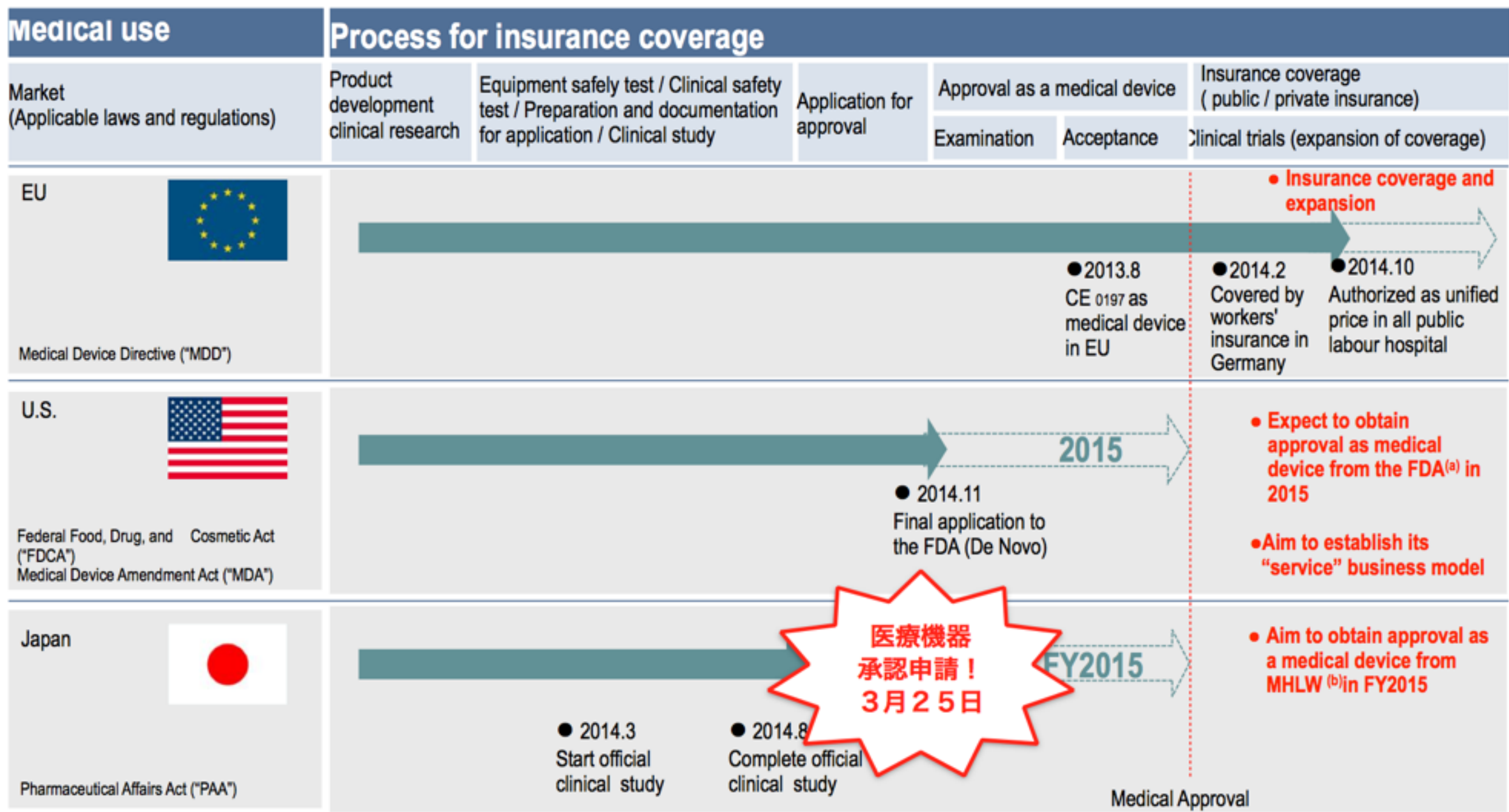
前期新製品のレンタル拡充

(注意)

下記事項による売上増加は
業績予想には織り込んでおり
ません。

- ① 欧州：公的医療保険適用
- ② 米国：FDA承認
- ③ 国内：薬事承認

治験、医療機器認証（日欧米）の現状



(a) FDA: U.S. Food and Drug Administration

(b) Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

製品&サービスのマッピング

事業展開 当社はHALを中心とする医療機器の開発から医療サービスの展開を手掛けております。また、介護や福祉等、生活支援分野においても機器の開発やサービス提供を行っております。

当社の開発製品

医療機器分野



革新的医療ロボット・革新的医療機器製品 & サービス事業

病院での機能改善・機能再生治療用
欧州医療機器認証 CEマーキング取得済
ロボット治療機器

バイタルセンシングシステム

- ・衣服の上からでも心電図計測を実現
- ・動脈硬化度の計測を実現



当社技術によるサービス

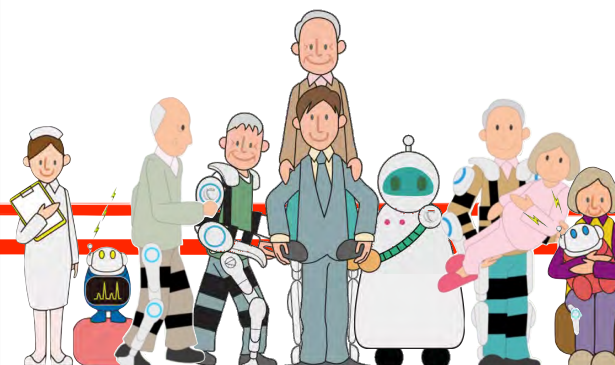
医療サービス分野（治療を実施）

（欧州病院、ドイツのケア・ロボティクスにて）



（ドイツにて公的労災保険適用開始）

CYBERDYNE



国際認証されたロボット医療機器/ケアロボット
"ロボットスーツ" (ISO13485, ISO/DIS13482)

国際医療機器品質マネジメントシステムを有する
サイバニクス最先端人支援技術

介護支援用HAL



生活支援用
モバイルベース
（ロボカート）



福祉用HAL



重作業支援
HAL



清掃・搬送
ロボット

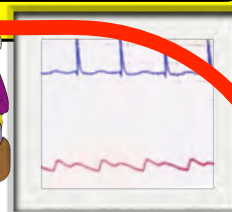


災害対策支援用



バイタルセンシング・ヘルスケアサービス

非接触心電図、体温、血圧、
動脈硬化度などをチェック



搬送・清掃サービス



- ・トレーニングサービス
- ・デイサービス
ロボケアセンタ
HALFITにて



パーソナルケアロボット/生活支援ロボット & サービス事業

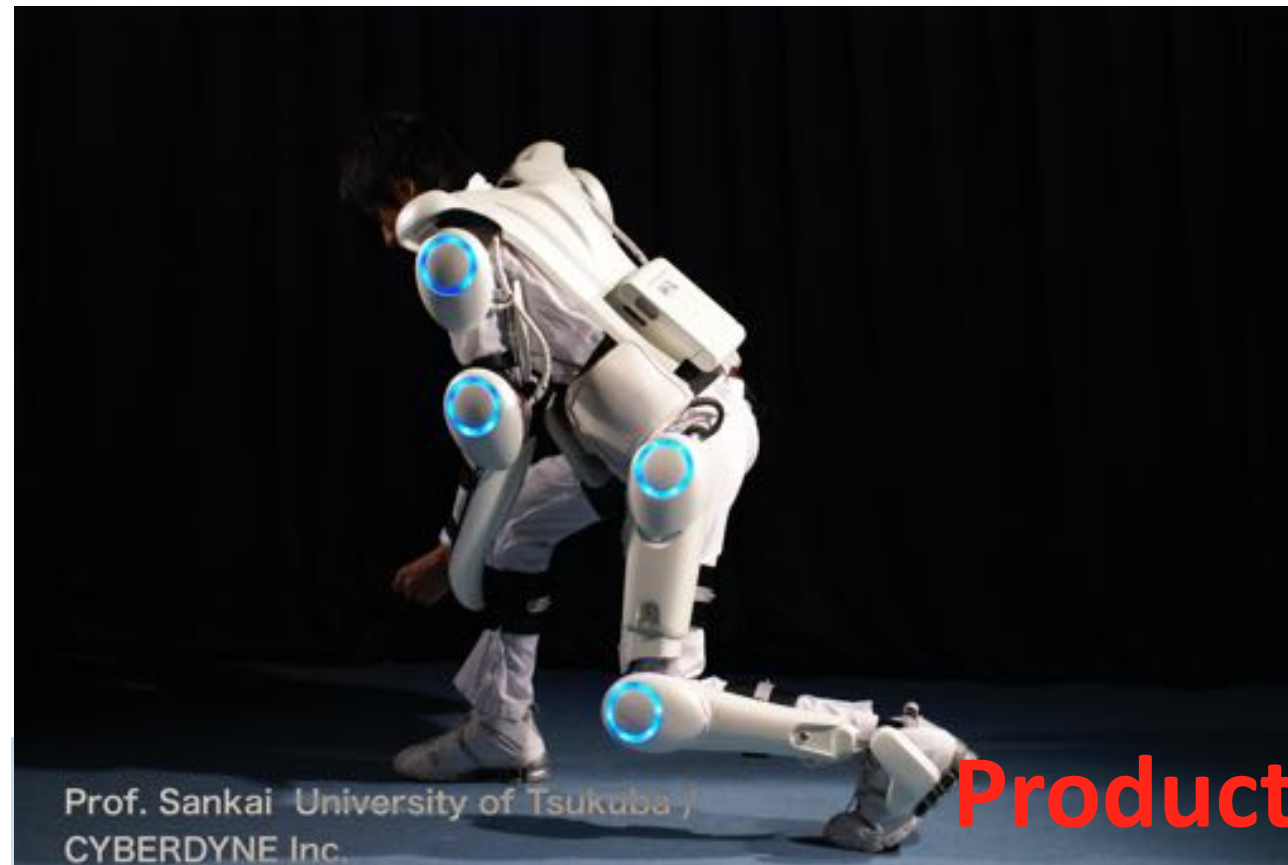
生活支援機器分野

生活支援サービス分野

2014年3月26日の上場時までの主製品

HAL for well-being
(training use until obtaining
medical approval)



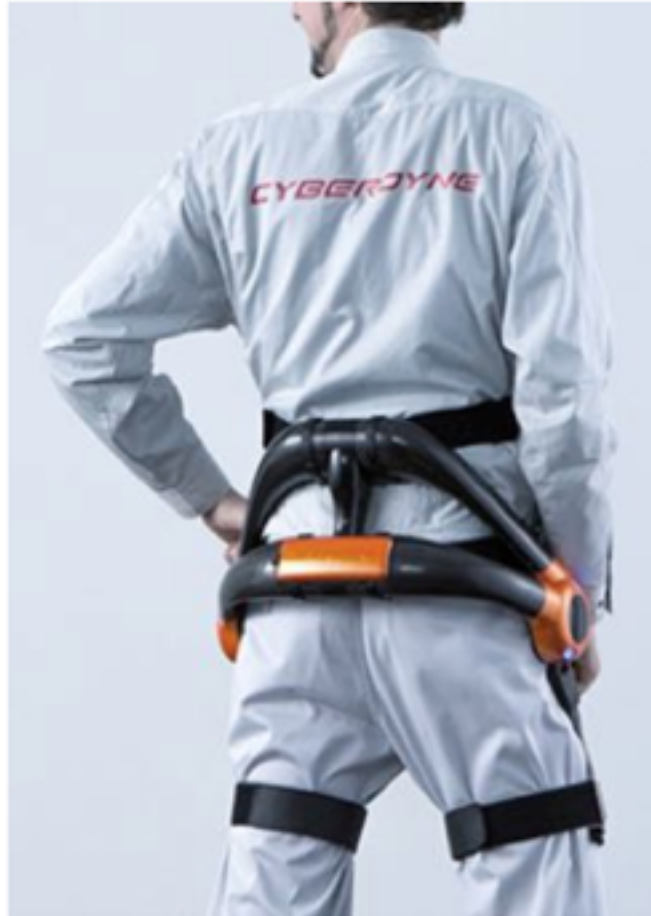


Products line-up since 2014





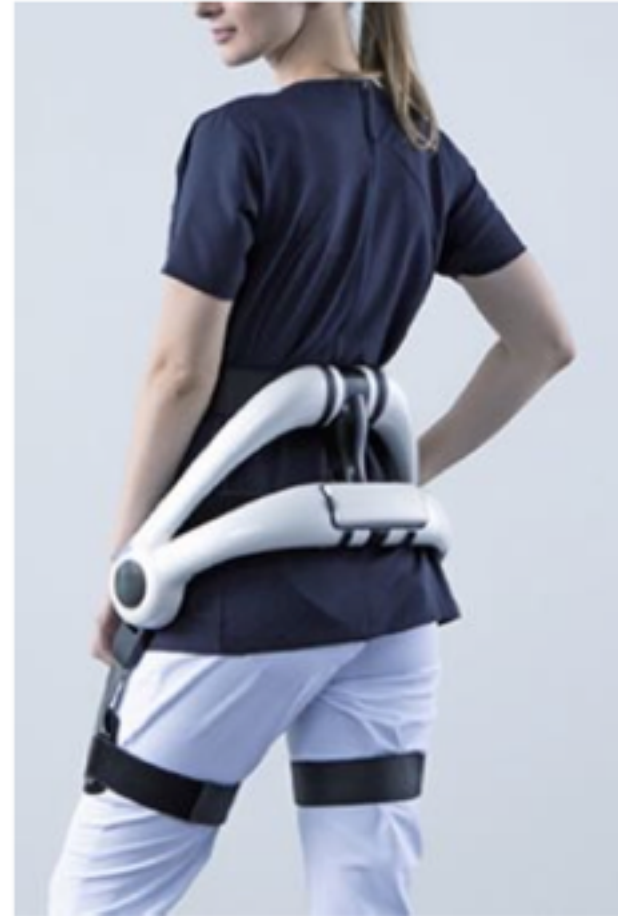
製品開発（前期に販売開始）



作業支援用HAL
腰タイプ



ISO13482 Certificate



介護支援用HAL
腰タイプ



ISO13482 Certificate



単関節型HAL（膝・肘用）



搬送ロボット

製品開発（今期に販売開始予定）



世界初！
手のひらサイズで
動脈硬化度と心電図を計測する
バイタルセンサー



人工知能AI搭載型
清掃ロボット

次世代型多目的ロボット化生産施設 in Fukushima



2015.05.13 更新



HAL®作業支援用(腰タイプ)を着用した鍬入れの儀(写真)
写真左から、山海嘉之(CYBERDYNE 社長)、内堀雅雄(福島県知事)、品川萬里(郡山市長)

【ニュース】福島県に、次世代型多目的ロボット化生産拠点の建設着工～福島県知事・郡山市長を招いて、安全祈願祭・起工式を実施～

福島県が実施する「福島医療・福祉機器開発・事業化事業費補助金」[\(2014.10.22ニュース\)](#)を活用し、郡山市に次世代型多目的ロボット化生産拠点を設置することとしております。

生産拠点の立地と整備を円滑に進めるため、昨年11月に郡山市と基本協定書を調印し[\(2014.11.18ニュース\)](#)、準備を進めてまいりましたが、この度、当該施設を建設の準備が整い、福島県知事や郡山市長をお招きして安全祈願祭および起工式を5月12日(火)に実施いたしました。

当日は、当社の「ロボットスーツHAL®」作業支援用(腰タイプ)を着用した鍬入れの儀が実施されました(添付プレスリリース、写真)。

オムロン社との連携



2014.12.24 更新

【ニュース】オムロン社との事業基本合意締結について

CYBERDYNE株式会社(本社：茨城県つくば市、代表取締役社長：山海嘉之、以下サイバーダイン) と オムロン株式会社(本社：京都府京都市、代表取締役社長：山田義仁、以下オムロン) は、本日、ロボット事業を含む基本合意書を締結しましたので、お知らせいたします。

本基本合意により、オムロンは自社のネットワークサービスを活用し、サイバーダインのHAL®介護支援用(腰タイプ)、HAL®作業支援用(腰タイプ)、搬送用ロボット、およびクリーンロボットの販売促進と保守サービスを提供してまいります。また、両社は近未来における人と機械が融和する社会の実現を目指し、サイバーダインの強みであるサイバニクス技術と、オムロンの強みであるセンシング&コントロール技術を活かしながら、共同で“生産革命”に関する事業を推進します。

中長期的な事業成長資金の調達

販売

グローバルな事業拠点構築（欧米など）

（約100億円）

生産

生産能力の拡大や生産技術の確立

（約50億円）

開発

製品開発や国際認証の体制拡充
→国際ビジネス拠点（CEJ）

（約200億円）

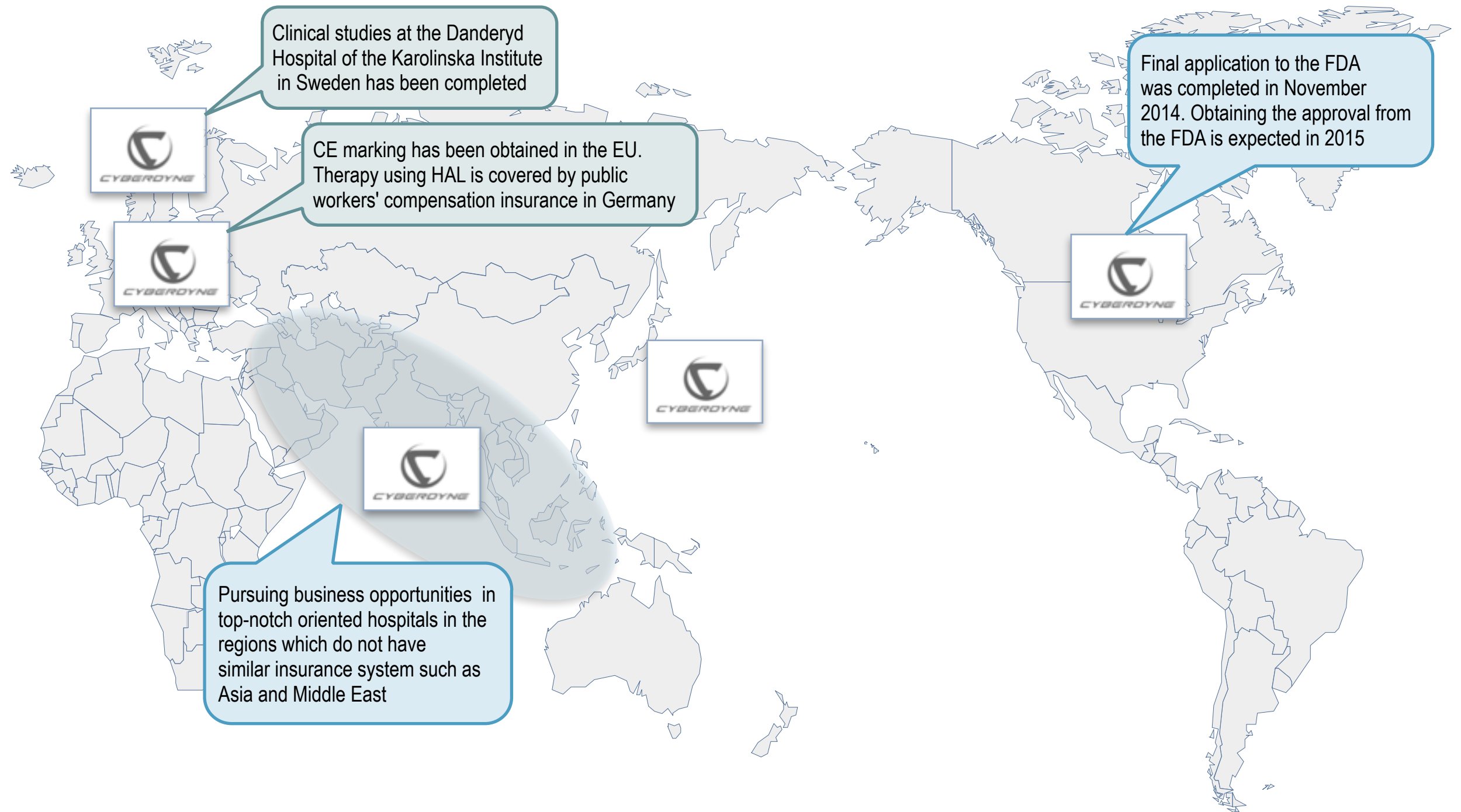
研究

革新的な技術や人材の取り込み

（約60億円）

海外募集により 414億円を調達（2014/12）

グローバル事業の展開



CEJ (サイバニクス・エクセレンス・ジャパン) in Haneda Area

CEJ:サイバニクス・エクセレンス・ジャパン



- CEJ (サイバニクス・エクセレンス・ジャパン) の設立へ
内閣府「革新的研究開発推進プログラムImPACT」で育成された
- 「イノベーション創出の仕組み」・技術・人材・企業を対象に、
- サイバーダインの機能・認証取得ノウハウ・事業展開ノウハウを提供し、
- 「医療関連VB創出」を推進する。

